

第 100 回 番組審議委員会 議事録

- 日 時：2023年10月19日（木）14時00分～
- 場 所：四ヶ町商店街組合ビル 4F 会議室
- 課題番組：毎週月曜日 17時 「特ダネ宅配便～防災情報！」
- 添付資料：内閣府・防災国体提出資料、
災害食サンプル（水かお湯をかけて出来るアルファ米おにぎり、九州ワーク 寄贈）

審議・記録

- 金子委員：リアルタイムに聴いた上で内容確認の為、送られてきた CD を聴いた。ゲストであるドクターの声が小さく、BGM に消されていた。CM が長すぎる。災害時、結局、どうしたらいいのか、もうちょっと分かり易く言って欲しい。
 - 山口委員：事前の放送準備が良く出来ている。医療の視点から見た災害時の準備（お薬手帳他）の大切さ、ラジオの役割が大切を実感した。市民生活に役立つ番組のアーカイブ化や再放送を検討頂きたい。放送のフィナーレに今日の重要なポイントをまとめて欲しい。
 - 深堀委員：災害時、医療的なケアの上で、電源確保の大切さを理解できた。また、私共が抱えている多数の災害ボランティアスタッフに医療ケアの課題を周知したい。勉強になりました。
 - 湊上審議委員：聴取者目線で言えば①初めてのリスナーには、番組の最初にその日のテーマを羅列頂き、番組を聞き続ける動機付けをして欲しい ②番組の締めにも、今日の番組の防災の注意事項のまとめを言ってくれれば防災情報を記憶できる。
尚、小中学校の昼休み黙食の時間に分かり易い防災情報を会話風に放送頂けないか研究して欲しい。
 - 草津審議委員長：防災は事が起きてからではなく、日常から意識し準備する大切さを実感した。災害時の避難先での感染症に対する防備は、日本国内だけではなく、更に過酷な状況にある発展途上国や戦争で混乱している国々では、喫緊の課題である事を認識しました。今後も防災、減災番組として継続して欲しい。
- 4) その他の番組についての意見：特になし